

## 四。二羽の鳥

長作集落全域で、いつもカラスは2羽ひがいない。初夏の候にカラスは卵を産み、雛がいる間は4羽になるが、雛が大きくなり自由に飛べるようになると、いつの間にか2羽になっている。

## 五。育ち石

古觀音より300m  
南西に、周囲15m  
ほどの大きな石があり、  
年ごとに大きくなる  
と言われている。

作 フシギ

## 六。音無しの滝

育ち石の  
北西100m  
付近に滝がある。  
20mほどの  
高さがあるが  
音もなく水が落ちると言われる。

## 七。集落に難産なし

古くより長作集落に  
難産はながったと  
伝えられている。  
これは觀音様の  
ご加護によるものだと  
言われ、住民の信仰心も  
高いものとなっている。

参考文献：小菅村郷土小誌

## 長作 よもやまばなし

●本当にキジを食べない  
七不思議の言い伝えを守り、長作の人は  
誰もキジを食べないそう。取材をした  
現在でも、キジを食べた人はいなかった。

●そばせんべい・もろせん  
有志のグループ『七不思議工房』が手づくり  
している、雑穀の風味あふれる焼き菓子。  
自分たちの畠で育てている雑穀を使用。  
道の駅で販売されている。

●小菅に行く  
同じ村内でありながら、  
村役場方面へ行く時、「小菅に行く」と言う。

●長作集落のほと全戸が「守重」姓。

●昔は田んぼが沢山あった。ホタルがうんと  
いた。えさになるカワニナもうんといった。

●祭り  
昔から觀音様の参拝客への余興として始まり  
今も続いている。祭りでは、お堂のご開帳がある。  
春祭り5月3日と秋祭り9月27日

●あ札・あ守りの購入場所  
これらを普段売っているのは近くの民家。  
近所の方に場所を尋ねてみてください。  
安産のお札・ごせんまい・交通安全のお守りがある。  
ごせんまい 水で洗い干した米を、半紙で包んだお守り。  
出産前に炊いて食べると安産になると伝わる。  
現在は復活した田んぼで取れた米を使用している。

●長作觀音堂周辺には白い花をつける  
ムラサキゴケが群生している。群生になるのは  
珍しく、これは第八の不思議ではなかろうか。  
花の見頃：5月ごろ

他にも面白話いろいろ。お散歩の際には地元の人と会話を楽しんでみてください♪



制作：エコミュージアム研究会  
エコミュージアム日本村 [www.ppmusee.org/eco.html](http://www.ppmusee.org/eco.html)  
2015年11月発行

ディレクション・文章・取材・写真提供：ヒロキ  
デザイン・イラスト・取材・文章：うちらあきこ  
消しゴム判子：大野果の子

小菅村観光協会：tel 0428-87-0741  
小菅村役場：tel 0428-87-0111

## 一。片葉の葭

昔、長作を訪れた孝安天皇の皇女が、急に  
産気づき、やむなく近くのヨシ原で  
お産をした。それから不思議なことに、  
この地のヨシの葉は片側に偏って  
生えるようになったそう。この片葉  
のヨシを妊娠がお産の時に敷くこと、  
安産になると伝えられるようになつた。

## 二。雉肉食せず

産気づいた  
皇女が難産で  
苦しんでいた時、  
付近から突然、キジが  
声を上げて飛び立った。  
皇女は数羽のキジに驚いて、  
亡くなってしまった。

皇女は亡くなる際に  
「キジの肉を食べな  
ければお守りします」と  
言ったのだと。が、  
それから觀音様はキジを嫌い、住民も  
キジを避けるようになつた。

キジ肉を食べてしまふと  
火にまつわる災いが  
起こると言われている。

## 三。かぐら谷附近に雉棲ます

最初に觀音様があった地は  
神楽入沢とされ、  
古觀音と称されている。この  
近くにはキジが生息していないと  
言わ、それは觀音様がキジを  
嫌っているためであろうと伝えられている。

# 長作散策 MAP

ナガサクサンサクマップ

…公衆トイレ

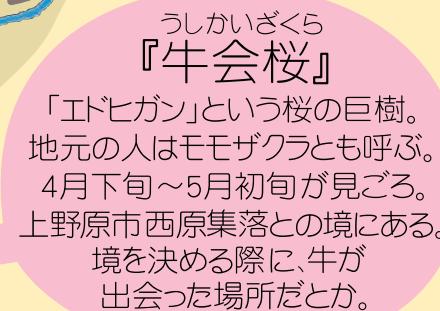
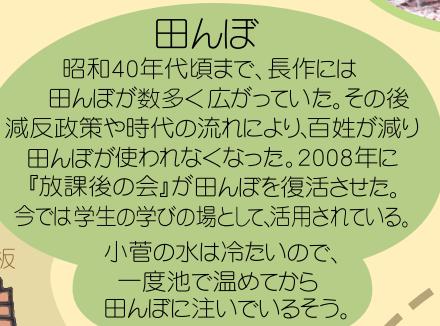
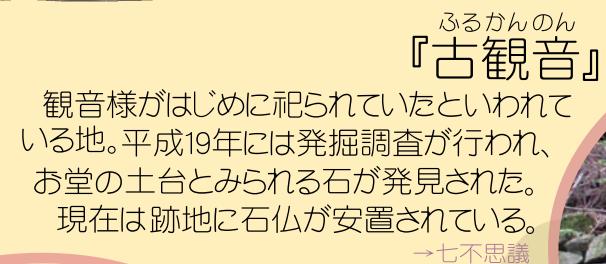
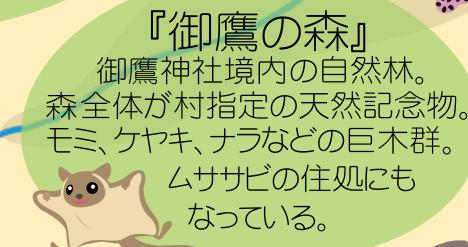
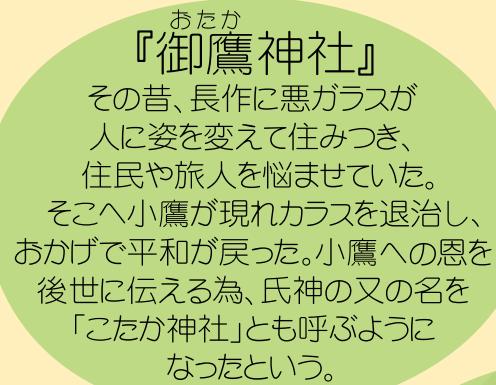
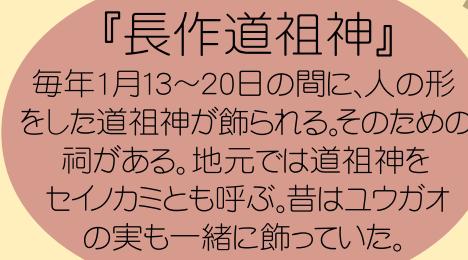
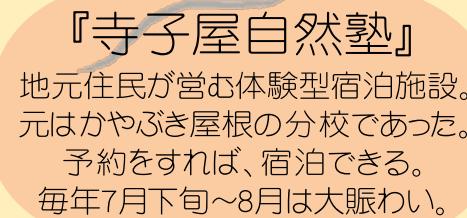
P …駐車場

♀ …バス停

道、山道 … - - -

市町村の境 … - - -

\*看板がなかったり、道がはっきりしていない所があるので、  
散策の際には気をつけてください。



至 相模川  
至 西原集落・上野原駅